



やまぶき

大田市立大森小学校

学校だより No. 349

発行日 令和6年12月19日

文責 校長 橋井泰治



11/12・14・22 2年生まちたんけん

生活科の時間を使って、大森町で働いている方や生活している方のことを調べています。日を分け群言堂、ベッカライ コンディトライ ヒダカ、石見銀山まちを楽しくするライブラリーを訪ね、働いておられる方へインタビューをしたり、見学させていただいたりしました。普段通り慣れているお店ではありますが、改めて気づかされたこともたくさんあったようです。地域と自分の生活とのつながりを感じる時間となりました。



11/26 味覚の授業

「味覚の一週間」実行委員会のご支援のもと、地元のパン職人 日高晃作さん、和の料理人 牧田旬加さん、ブドウ栽培家 宇谷元希さんを講師に味覚について学ぶ学習を全校で行いました。塩のありなしのパンを食べ比べたり、苦みをおいしさに変える秘密を教えていただいたりしました。しっかり五感を使っておいしさを楽しみ、食に関する感謝の気持ちをもてる子どもたちを育てていきたいです。



12/4 書初め会

講師 和田井外さん 他3名を招いて書初め会を行いました。一人一人に丁寧に書き方について助言をしていただきました。静かに集中して取り組み、あっという間に2時間が過ぎました。

最後の感想発表では、自分の字がどんどん上手になることが分かったと発表する子もいました。講師の方より話を聞く姿勢も褒めていただき、子どもたちはとてもうれしそうでした。

低学年 石見銀山小品彫刻展見学しました。



日	曜	R7.1月の主な行事
8	水	始業式
23	木	高学年 租税教室
28	火	中学年 ごみ処理場見学 高学年 プログラミング学習
30	木	中学年 不燃物処理場見学
31	金	スキー教室

12/11 授業研究会開催

大田市内教員（約50名）が集まっての授業研究会を本校で開催しました。

【公開授業内容 5・6年生 総合的な学習の時間「大森の魅力をもっと広めよう」】

昨年度、子どもたちは、地域の方がこれからも大切にしていきたいと考える宝物（人・もの・風景）を「世間遺産」とし調査活動を行いました。今年度は、もっとたくさんの人たちに世間遺産を発信することを課題に設定し取り組んできました。

子どもたちは、「世間遺産」の解説スライドが見られる二次元コード付きのポスター（右画像）を作成し、夏休みに地域の方のご理解のもと町内数ヶ所に掲示しました。Webアンケートも設定し、万全の体制で回答を待ちわびていましたが……なんと回答数は3件のみでした。子どもたちは、残念がっていましたが、もっとスライドを観てもらうにはどのようにした方がよいのか考えていくことにしました。

話し合う中で、自分たちだけでなく、地域の方にアドバイスをいただいて改善していくことにしました。今回の公開は、その一環として石見銀山みらいコンソーシアム 金田郁也さん・齋藤きよかさん、石見銀山ガイドの会 安立聖さんをお招きし、いただいた助言を整理していく授業を観ていただきました。考えを伺ったり、タブレットパソコンを使って思考ツールに入力したりしていきました。この活動を通して、情報を活用する力や将来にわたって地域社会に関わっていこうとする態度を養いたいと考えています。



Plus 良いところ	Minus もっと良くてできるところ	Interesting 興味深いところ なぜ?と思ったところ
前の魅力ツアーから改善点を探し、進化させたこと ・情報量を少なくした ・QRコードが1つにしてアンケートを読み取ってもらいやすくなった ・人が止まる場所にポスターを置く ・一つだけ見るなどが多い ・人がもっといる所にポスターを置く ・より目に留まりやすいところにポスターが貼ってあった 緑…地域の人からの意見	カート乗り場などにおいてもいいんじゃないのか ポスターだと目に留まりにくいんじゃないのか もっと明るい色にしたり目を引くようなデザインにしたりしたら見てもらえるんじゃないか バス停のベンチに貼ってもらったら待ち時間の間に見てもらえるんじゃないか もっといろんなところにポスターを貼ってもいいと思う 赤…ポスター以外の方法	の様にカードにせずずっと持ってもらえる（見てもらえる）ようにした方がいいんじゃないのか？（アンケートを読み取ってもらいやすい） カードにしたいと思うけど、カードのいいところだけをまねてもいいんじゃないか カードのいい所は、ずっと持ってもらえる・いつでも二次元コードを読み取ってもらえる カードの裏面にマップを貼って探してもらうのはゲームかんかくて楽しめていいんじゃないか 黒…ポスターについての意見

<参加者感想>

- ・地域の方と話している姿がとても良かったです。地域の思いを子どもたちがしっかり受け取っていました。子どもの思いを大切にしたい学習の流れとなっていると思いました。
- ・情報収集をしながら整理分析し思考を高めていました。普段の仕事でも使えます。将来役立つ力だなと思いました。
- ・昨年度の取組から子どもたちの思いを形にするのが素敵でした。ICTに慣れていることにも驚きました。難しいことへのチャレンジでしたが、他者の意見を聞きながら頭で整理し、ICTを使い文字に打つということができており、日ごろの実践が形になっていると思いました。

【↑ タブレットパソコンを使って入力した思考シート】

講師の NPO 法人 エデュ・ネットワーク・プラン 代表理事 齊藤一弥 先生からも、地域の方とかかわりながら、大森町の魅力を発信していきたいという、子どもの思考に沿った探究的活動を褒めていただきました。新たな視点もいただきましたので、3学期に改善を図り、引き続き子どもたちの力を伸ばすため挑戦していきたいと考えています。

